

## 今後の近代文化財について

旧広田医院が国登録有形文化財の答申があったことを受け、登録が正式に決定となった後、同文化財の保存、普及啓発方法の検討や、他に埋もれている町内近代文化財の調査や保存、普及啓発方法等を調査検討していきたい。ついで、下記西寒川支線について令和3年度第1階文化財保護委員会（書面会議）にて今後町指定重要文化財候補として審議対象とすると協議していただいたが、他の近代文化財と共に調査研究対象としたい。

## ・西寒川支線跡

所 在：一之宮公園（一之宮緑道及び八角広場） 一之宮3丁目 2172-1 の一部

所有者：寒川町

管 理：都市計画課都市みどり担当

沿 革：大正4年（1915）茅ヶ崎町長他から「相模鉄道株式会社発起趣意書」「起業目論見書」が作成され、鉄道院に対し鉄道営業の免許申請がされる。

大正10年（1921）9月28日 相模鉄道株式会社が茅ヶ崎駅-寒川駅間及び寒川駅-川寒川駅間を開通

大正11年（1922）5月10日 寒川駅-四之宮駅間が砂利貨物として開通（後の西寒川支線）

昭和19年（1944）国有化 四之宮口駅から西寒川駅に改称 路線も見直しがされ、寒川駅-西寒川駅間の形となる

昭和24年（1949）国鉄が発足し、「相模線」となる

昭和59年（1984）3月31日廃線

昭和62年（1987）支線跡地の一部である大門踏切付近「ゲート広場」から「八角広場」までの900m緑道が整備される。途中の一之宮公園内に約200mレールが保存されている。

平成元年（1989）3月 西寒川駅跡地に一之宮緑道終点として八角広場が整備される。約20mレールが保存されている。

平成30年（2018）「西寒川支線 廃線跡」としてNPO 法人湘南遺産プロジェクトによって「湘南遺産」に選定される。